

◀ イタリアに於ける

アラビア学研究機関 ▶

イタリアの漢字の

先ず代表的な研究機関を以下に列挙し、
そのうち（イタリアの都市名をアルファベット順
に挙げる）。

一列あり

① Società Asiatica Italiana ↑

「 泉せば、イタリア・アジア協会と存する

。ファイルニツエにある。

② Università Cattolica del Sacro Cuore

聖心カトリック大学。ここには11°ピル

ス大学研究所もある。~~左~~左ミラノ。

③ Scuola di Perfezionamento in Lingue e Letterature

Orientali e Glottologia ^{東洋語言文學言}

語言研究科

大学院

セム系諸言語 ~~インド~~ インド・ヨーロッパ

の11°系、東洋諸語 ~~教授~~ 研究 ~~東大~~ 近東考

(アジア経済研究所蔵用紙)

No.

2

古学の教授・研究に専ら。

No. _____

60

o An International Directory
Amsterdam 1962

~~o World of Learning (19th) 1968-'69~~

① Firenze :

● Società Asiatica Italiana

② Milano :

● Università Cattolica del Sacro Cuore

● Scuola di Perfezionamento in Lingue e Letterature Orientali e Glottologia

● Università degli Studi

Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente

③ Napoli :

● Istituto Universitario Orientale

④ Palermo :

● Accademia del Mediterraneo

No.

● Centro per la Cooperazione Mediterranea

o

⑤ Pavia :

- Università di Pavia
Centro studi Afro-Asiatici

⑥ Roma :

- Accademia Nazionale dei Lincei
Fondazione "Caetani"
- Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente
- Istituto per l'Oriente
- Centro per le Antichità e la Storia
dell'Arte del Vicino Oriente
- Centro per le Relazioni Italo-Arabe
- Pontificia Universitas Gregoriana
Pontificium Institutum Biblicum
- Pontificium Institutum Orientalium Studiorum
No. _____
- Università di Roma
Istituto di Diritto Romano e dei Diritti dell'Oriente
Mediterraneo
- Istituto di Studi Orientali

我々は今まで、イタリヤに於ける主要な
ラビ音楽 ~~の~~ 研究機関には ^{AFS} ほとんど存在しなかつた。
~~AFS~~ 又それ以外にAFSの存在を
見つけているが、

きた。故に我々の存在を提示せば、AFS
の人々もAFSの業績をあげてくれること
に期待するであらう。

問題は、イタリヤに於けるラビ音楽と一般
音楽の舞台でとらえらるべきとき、かなり茫
漠とした様相を呈する。人々、人と作品と
の問題は、場所の問題と一緒になって、一般的に
はかなり茫漠とした様相を呈するのが普通で

No. /

又である。イタリヤに於けるアラビア字の場合
、特に初期に於ては、極めて顕著な一つの個
性を示してゐる。それは何かと云へば、三々
りアのアラビズム (Arabismo Siciliano) 研究
と見えてゐる。初期のアラビズムの

アラビア字の^{内容}があり、^字のアラビズム
^{に比べて} ~~問題~~ ^{として} ~~アラビズム~~ ^に 依るもの。
~~アラビズム~~ ^{アラビズム} ~~アラビズム~~ ^{アラビズム}

。勿論三々りアとは直接関係はない ^{分野} ~~問題~~ である
。多くの研究がなされてゐることは言うまでも
ないが、イタリヤのアラビア字の ~~歴史~~ ^{歴史}

3.1 頁、273 頁、その最大の責務は、それ²他の
ロヨ-ロツ、10 各国のアラビヤを追求し、許す
る。著者は Arabismo Siciliano の探求であった
と言えらる。外国史では存くは自国史
そのものの一ページ^{と見なす}にすぎない。その
~~所~~から、この人と作品との問題を、今
回は三千年のアラビヤとこの視野にしば
りて検討してみたいと思³う。それ
に關する資料をいろいろ集めたのであるが、
その中でローマ大主教 Francesco Gabrieli の

観
桌

1), 今 $\alpha \approx 3$ 二つ α を整理された
 $70-110$ は異ITな"の"

Cento anni di studi ~~di~~ arabo-siculi (アラブ・
シナリア研究の百年), Studia Islamica II (1954)
が要領よくまとまり、下資料で ~~ある~~ ~~こと~~ ~~を~~ ~~示~~
した。これとそのまゝ ~~を~~ ~~記~~ ~~述~~ ~~し~~ ~~た~~ ~~こと~~ ~~が~~ ~~「~~ ~~」~~ ~~と~~ ~~思~~ ~~い~~
以下に記出した。 ~~後~~ ~~方~~ ~~で~~ ~~あ~~ ~~る~~。

Handwritten note in a vertical oval: ~~アラブ・シナリア研究の百年~~

訳文中、() 内は若干 ~~の~~ ~~もの~~ ~~を~~ ~~除~~ ~~き~~ ~~原~~ ~~註~~ ~~が~~
ある。註は ~~何~~ ~~の~~ ~~場~~ ~~所~~ ~~の~~ ~~直~~ ~~接~~ ~~に~~ () に入れた
その ~~こと~~ ~~が~~ ~~「~~ ~~」~~ ~~と~~ ~~考~~ ~~え~~ ~~ら~~ ~~れ~~ ~~た~~ ~~こと~~ ~~が~~ ~~あ~~ ~~る~~。
示した。若干 ~~の~~ ~~もの~~ ~~を~~ ~~除~~ ~~き~~ ~~大~~ ~~部~~ ~~分~~ ~~が~~ ~~原~~ ~~註~~ ~~で~~ ~~あ~~ ~~る~~。

小 説 文 庫 日 本 文 学 研 究 所
(トシタ経済研究所原稿用紙)

No. _____

1. 研究機関

~~アラビア語研究機関~~

教
授
科
目

今日のイタリアに於いて、東洋学を中心地
はローマとナポリであること、勿論
他の諸都市にも東洋学関係の ~~施設~~ ~~と~~ ~~さ~~ ~~り~~ ~~な~~ ~~り~~
~~そのうちの大学を中心として研~~

生
キ

究機関(館)は少なくは存し。例えは
~~パレルモ大学~~ バーリ大学 ~~ミラノ大学~~

(
点
線
)
生
キ

でもアラビア語が教授されておらず、
~~パレルモ大学~~ ~~トリニツエ大学~~

(~~Università Cattolica del Sacro Cuore~~)

(シテ経済研究所専用紙)

No.

、パヴィーア大学ではヘブライ語が教授され

、エジプト語は~~パヴィーア大学~~ピサ大学で^も研究

されてゐる。しかしアラビア語が教授されて

ゐる~~のは~~、バーリヤ^{その他}の諸大学にし

たとゝ^{アセキエ}て、~~アセキエ~~アラビア語の講座^{がアセキエ}が^{アセキエ}あつておつた

い~~る~~の~~で~~は~~な~~く~~て~~、~~各~~年~~契約~~の~~非常勤~~講師に

アセキエの~~人~~が~~あ~~つた。それにく^らう^なると

一々大学やロ^マに~~設~~置^設されてゐる諸研究所

、^{の研究所}トホリ~~は~~圧倒的に他を^上に^にゐる。以

前^前ハレルモ大学はアラビア語学に於いて一際

19世紀終年から20世紀
9年ほど

(アジア経済研究所蔵用紙)

~~Handwritten scribbles~~

No.

(ハレルモ大学に於いて
アラビア語)

アラブ・シリアの歴史文学と石版の研究
 2. Studi sulla numismatica
 araba ~~1891-1892~~ 1891-1892
 Catalogo delle monete arabe nella
 Biblioteca Comunale di Palermo
 1892. 10.11. 在本邦図書館のアラブ文庫の
 のアラブの歴史

(Cento Anni 30)

不滅の大作 I diplomi greci ed arabi di Sicilia
~~pubblicati~~ 34179キリヤの歴史... アラビア文書
 Palermo 1868-1882 2巻 世に問ふSE
 C.F. Grazioplene 9 Cento Anni

史の存在を述べた。即ち Salvatore Cusa, ... a 説き及ぶ

Bartolomeo Lagumina, Amari e Storia dei Musulmani
 di Sicilia (34179の12345678910) の改訂
 版を本し (Catania, 1933-39), 尋常編に於て

~~2巻編を本し~~ → Storia dell'astronomia
 presso gli Arabi nel Medio Evo. [中世アラビア天文学史] 尋常編に
 Roma, 1911.

これに2巻編を本し 2113 Carlo Alfonso Nallino,
 アラブ・シリアの詩に関する著作. Antologia
 di poeti arabi siciliani, 1935 (アラブ・シリア詩
 人選集) の著者, I. Di Matteo 等の アラビスト による

(アラブ経済研究所原稿用紙)
 (Cento Anni 30)

No. 3

、で、イタリヤ大学のアラビア語学の講座は

次々と担当されてきたのであった ~~この頃~~ ~~も~~

~~(イタリヤに於けるアラビア語学の専攻科の存在は)~~

フィレンツェも、Amarini ~~の~~ ¹⁰³ のフィレンツェ

Michele

ツェ高級学術研究所のアラビア語教授として

1860年から1873年までフィレンツェで教えた

ことにもよる。フィレンツェ大学は イタリヤに於ける東洋学の

一つの中心地として定まっていた。しかしこれも

1940年代までであった。（この頃は冷戦に定か不穏な状況）
フィレンツェにあり

れたのは Societa Asiatica Italiana (向來判要

ア ~~シ~~ ~~ア~~ 協会) ~~の~~ ~~口~~ ~~マ~~ に ~~編~~ ~~入~~ ~~ら~~ ~~れ~~ ~~て~~、フィレンツェ
(31-36)

~~全中~~
全中

ツエはアの中心的作用を失って（マ→ア。11°

レル王大学でも、1942年、I. Di Matteo 教授の

退官は、~~後講義~~ は中止した、~~長期間~~

年契約の非常勤講師である、~~マ→ア~~ の状態

に在る、~~マ→ア~~ の台座の講義の重要性は

レル王とツエとの関係が、マ→アのアラビ

ア学を中心地、~~マ→ア~~ にかつてのツエは

のすそを、~~マ→ア~~ の能力（地元の大学に

は、~~マ→ア~~ 最近まで、レル王に於て結実し、11°

レル王大学のアラビア語講座の発展にて、ア

アラビ語

X
X
X
X

ア、ミラノ等の「カハ」東洋亭の辺地具亭と離

れて、東洋亭の二都府の口一マヒナホリヒに

目を向けてみる。その前に次の二ヒエ田「カハ」三了后」。

~~雑誌~~
二、研究所は Rivista degli Studi Orientali 19
07年以來生じている。題名は異 = 田 二 天 二 正
... 現在、この雑誌は ...
二 Studi Orientali ...

27
51

~~Scuola Orientale~~
... 東洋学関係の学生は ...
... 以外 ...

69
22
11
a

てもたても... 事実を除くと、イスラエルの誕生以前も、その昔から、^も 中東の歴史を通じて、同じ地中海世界の構成員であり、地理的条件により、イタリア、ギリシャ、トルコと深く結びついている。また、^{詳細} 中東の歴史をみると、^{今から二千年前} イスラエルの歴史に、~~ギリシャ~~ ギリシャの歴史と深く結びついている。また、(Michigan 大学でイスラエルの歴史を研究した G. F. Hourani の言葉を借りて存在は) It has not led to such a deep and large-scale contact

文化の、
 宗教的、
 政治的、
 方面...

取引

(イスラエルの歴史を研究した G. F. Hourani の言葉を借りて存在は)

#7
 Humani
 Rossi
 F. Gabrieli
 (1) Epigoni
 (2) Amari etc
 ↓
 decadenza
 ↓
 (4冊目)
 1913年9月
 ↓
 ↓
 ↓

quite a limited public. In quality, however, it maintains the high standards set by the great scholars of the past: Amari, Caetani, ~~Ignazio~~ De Guidis, G. Gabrieli, Conti Rossini, C. Nallino, Somtillana. (Middle East J. ...)

~~That this tradition is being upheld is due to their inspiration and instruction of the senior scholars of today, as well as to the general education and experience of modern Italians which can so easily provide an excellent basis for oriental studies.~~

→ = s ... s 東洋学 α, ~~...~~ ← 打子 危機感 ~~...~~
 1917年 外部的特色は
 不安なる...
 不安なる...
 不安なる...
 不安なる...

15

No.

自責されて「さよ」で「さ」。果してこれば、→ *Humani* 教播
91155515

Amari が *Caetani* 字、過去の偉大存子序若達

に「よ」で「さ」~~の~~ ^定 ~~の~~ 水準を維持末まで

「さ」で「さ」か。 ~~の~~ *F. Gabrieli* によれ

ば「no」で「さ」。 *Gabrieli* は、過去の「か」に

先輩達に「さ」が「さ」、今日の「イタリア」の「ア」

「ア」ト「ア」は「流」でしかなく、又、イタリアの

最初の「オリエント」の「高学教育」~~の~~ ~~の~~ ~~の~~ ~~の~~ 租税

は *Amari* に「よ」で「さ」か、90年「さ」の今日、さ

り「登」して「さ」と「さ」とも「さ」の「さ」の「さ」(「さ」)

あり「さ」の「さ」(cento anni)。その「さ」は「さ」の「さ」の「さ」
「さ」の「さ」の「さ」の「さ」の「さ」の「さ」の「さ」の「さ」の「さ」

説明「さ」の「さ」

<<ロ-マ>>

1902年に設置された Societa Asiatica Italiana (伊太利亞亞細亞協會) が
ロ-マに移した理由は、ロ-マが「一國の首都として種々の便宜を呈現するから」との理由で「1717年」
にその地には既に多くの学校、

→ 多くの東洋研究機関があったから ~~ある~~ である。

その中で最も有名で、~~最も~~ 存在しているのは「1915

ロ-マ大学 ^(Università degli Studi, Roma) である。

ここに数々の研究所がある。その

~~は Università degli Studi, Roma (ロ-マ大学)~~

① Istituto di Studi Orientali (東洋学研究所)

これは1906年、ロ-マ大学文庫部に

Scuola Orientale (東洋学館) として設置され

たものであり、~~現在~~ ^{現在} は Scuola Orientale とその名称は

~~名称は~~ Istituto di Studi Orientali と改称され

ている。

(この「東洋学研究所」原簿用紙)

No.

18

その大学院コースに与えられた。研究所長は

ローマ大学校長により任命され任期は三年で

あり。教授数は20人。図書館は15000冊の蔵

書をもつが、ユニークなものとして「Fondo

Ignazio e Michelangelo Guidi (イグナツィオ・ミ

ケラニジエロ・グエーデの文庫)がある。

アラビア語、コプト語、エチオピア語及びヒ

リア語の資料をそろえている。

[Handwritten scribbles]

この研究所は大きく次の三部門に分かたれる

（本邦：邦文を合して、~~邦文~~ 邦文以外を併
その専攻・研究の分野とすると、5に2に3の

Rivista

二の研究所の雑誌 ~~Rivista~~ degli Studi Orientali

は1907年以來発行されている。最初の号は1907年2月発行の現在

季刊である。この70年間に2回ほど Studi Orientali がある。

~~1907年2月発行の現在~~ ~~季刊である。~~ ~~この70年間に2回ほど Studi Orientali がある。~~

→ 1907年2月発行の現在

→ ~~Università degli Studi, Roma (ローマ大学)~~

② Istituto di Diritto Romano e dei Diritti dell'Oriente
Mediterraneo (ローマ法及び東地中海諸国の法律研究所)

Istituto di Studi Orientali が 文部省 に設置

された研究所であるに好して、二の研究所

17
P. 17 の () 内に入る。



オリエント関係の

専門書は、イタリヤでは、他のヨーロッパの

諸国やアメリカへ行くまで、あまり売れ

ず、売れた専門書店は殆んどない。落

売として成り立っていないのである。))

17
P. 17 の () 内に入るべきもの：

本館物

(イタリヤのオリエント関係の書に ついて ~~興味ある報告の~~ Howami 教授

~~の報告は~~ は YR の FS に 興味深... = 述べられて... (M. East Journal p. -)

即ち, the striking feature is the rarity of books

... philosophies of the two nations)

清書の読み直し